第６章

緑のまちづくりの実現に向けて

１　緑のまちづくりの目標・・・・・・・・・・・・７７

1　緑のまちづくりの目標

本計画では、基本施策の実施による緑の将来像の達成状況を把握するため、以下の数値目標を設定しました。これらの目標値の向上に取り組むことで、緑の将来像「水と緑で笑顔がつながるまち　がまごおり」の実現を目指します。

目標１：市域に占める緑地の割合

施設緑地と地域制緑地を合わせた緑の総量を示す指標です。今後、産業地の拡大に伴い森林や農地の減少が想定されますが、法制度の適切な運用や農業振興により森林や農地の保全に努めるとともに、公園緑地の計画的な整備を行うことで緑地率の現状維持を目指します。

現状（令和６年）	目指す方向	目標値（令和 16 年）
52.1%	 現状維持	概ね 52%

※現状（令和６年）の数値 52.1％は、市域面積 5,696ha に対する令和５（2023）年度の緑地現況量 2,966.4ha（「第２章　緑の現況」の 10 ページを参照）の割合

目標２：蒲郡市立地適正化計画における居住誘導区域内の都市公園カバー率

蒲郡市立地適正化計画で設定した居住誘導区域内の都市公園の整備状況を示す指標です。居住誘導区域は人口密度を維持することで、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導する区域です。区域内において公園整備など公共投資を計画的に進め公園カバー率※を高めることで、良好な居住環境の確保を目指します。

現状（令和６年）	目指す方向	目標値（令和 16 年）
50.6%	 増加	55%

※居住誘導区域面積に対する都市公園および 1,000 ㎡以上の児童遊園地などの誘致圏（250m）面積の割合

目標３：公園の満足度

令和５（2023）年に実施した市民アンケート調査の「市内の公園の満足度」に関する設問に「満足」および「やや満足」と回答した割合を示す指標です。公園施設の更新、地域のニーズに合わせた特色ある公園づくりを行い、公園の魅力度を高めることで満足度の向上を目指します。

現状（令和６年）	目指す方向	目標値（令和 16 年）
30.5% （令和５年アンケート調査）	 増加	35%

※市民アンケート調査から　公園の満足度の設問（公園までの距離、公園の大きさ、遊具などの施設、公園内の安全性、清掃や樹木の管理、緑や芝生などの多さ、利用上の規則の 7 項目）で「満足」および「やや満足」と回答した人の割合の平均は、平成 22（2010）年（25.8%）から令和５（2023）年（30.5%）までの 13 年間で 4.7 ポイント増加しており、年平均では約 0.4 ポイントの増加となります。今後 10 年間で同程度の割合での増加を目指し、目標年次は 34.5%≒35%とします。

目標４：緑に関する活動への参加意向

令和５（2023）年に実施した市民アンケート調査の「緑を残したり、増やしたりする活動への参加意向」で「参加したい」および「できれば参加したい」と回答した割合を示す指標です。緑に関する活動の情報発信に努め、市民との協働による緑のまちづくりを目指します。

現状（令和６年）	目指す方向	目標値（令和 16 年）
32.8% （令和５年アンケート調査）	 増加	50%

※令和５年の市民アンケート調査では、「緑を残したり、増やしたりする活動」に「関心がある」および「やや関心がある」と回答した人の割合が 49.7%と約半数なのに対し、「緑を残したり、増やしたりする活動」へ「参加したい」および「できれば参加したい」と回答した人の割合は 32.8%と低く、緑に関する活動への関心の高さに比べ参加意向が低い結果となっています。このため、緑に関する活動に関心がある人すべてが活動に参加したいと考えるよう働きかけ、緑に関する活動に「参加したい」および「できれば参加したい」と回答する人の割合の目標を、緑に関する活動に「関心がある」および「やや関心がある」と回答した人の割合（49.7%）と同じ割合まで増加することを目指し、49.7%≒50%とします。